

平成27年度 第1回

三重県伊勢志摩サミット推進本部（仮称）会議

事項書

日時 平成27年6月26日（金）

14:15～14:45

場所 プレゼンテーションルーム

1. 開会

- ・知事挨拶
- ・経過報告

2. 議題

(1) 三重県伊勢志摩サミット推進本部（仮称）の設置について

(2) サミット開催地の視察報告について

- ・フランス・ドーヴィル
- ・ドイツ・エルマウ

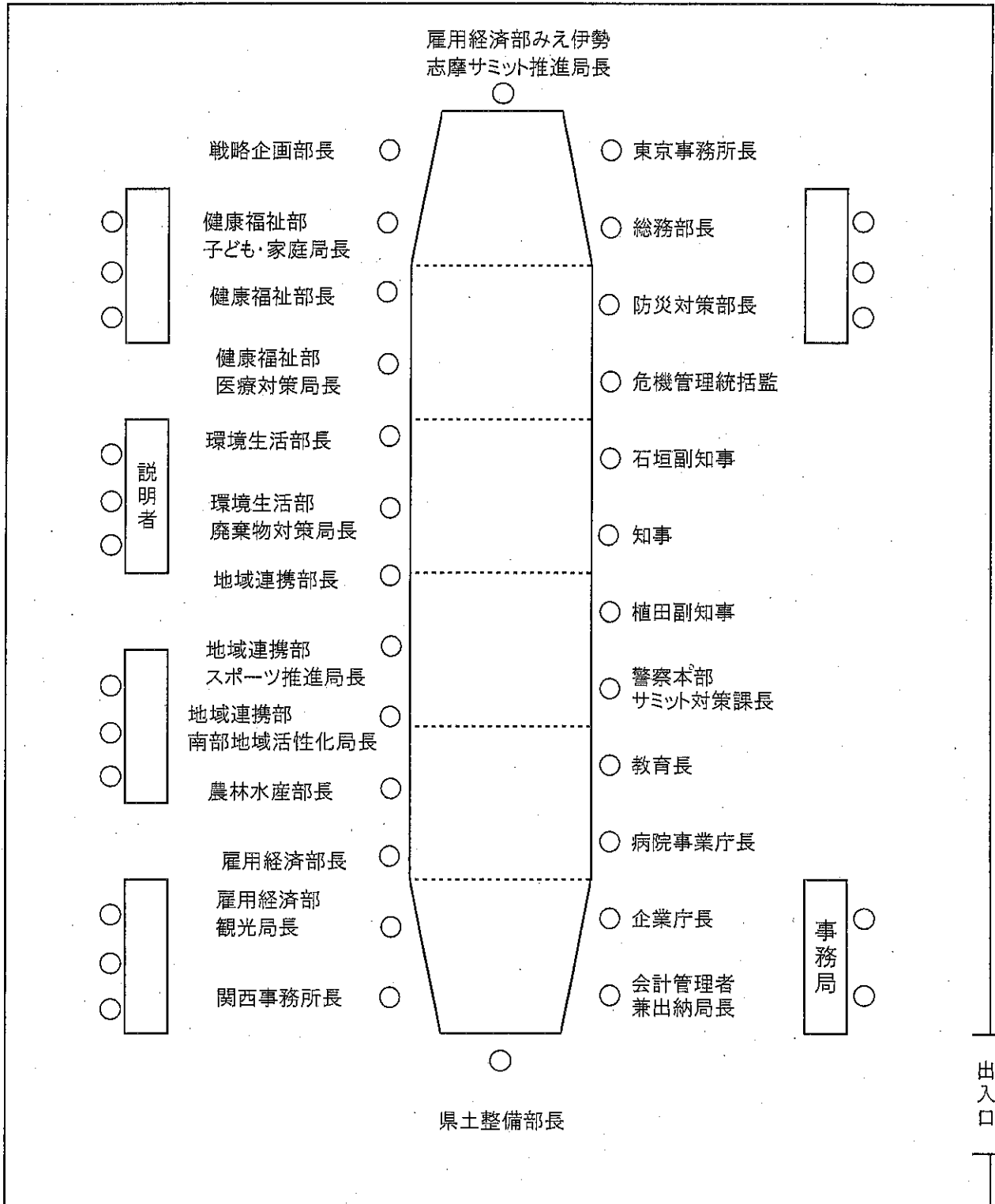
3. 閉会

【配布資料】

- ・資料1：「2016年主要国首脳会議（サミット）」開催地決定後の主な動き
- ・（参考資料）平成27年6月22日 伊勢新聞政経懇話会資料
- ・資料2：三重県伊勢志摩サミット推進本部設置要綱（案）

平成27年度第1回三重県伊勢志摩サミット推進本部(仮称)会議 座席表

プレゼンテーションルーム



「2016年主要国首脳会議（サミット）」開催地決定後の主な動き

年 月 日	主 な 出 来 事
平成 27 年 6 月 5 日	安倍首相が、三重県伊勢志摩での開催を発表
8 日	県雇用経済部に「みえ伊勢志摩サミット推進局」を設置 (3課16名体制)
11 日	安倍総理、菅官房長官他を表敬訪問
12 日	外務省「伊勢志摩サミット準備事務局」の設置
12 日	警察庁「伊勢志摩サミット等警備対策委員会」の設置
15 日	県警察本部「三重県警察伊勢志摩サミット警備対策委員会」の設置
15 日	消防庁「消防庁伊勢志摩サミット等対策準備本部」の設置
15 日	津市「サミット関連情報連絡調整会議」の設置
15 日	伊勢市「伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議」の設置
17 日	外務省現地視察（～19日）
18 日	在大阪・神戸独総領事知事訪問
19 日	志摩市「サミット推進本部」の設置
22 日	県警察本部「サミット対策課」の設置
23 日	サミットの開催日が、平成 28 年 5 月 26 日、27 日に決定
23 日	在名古屋米国大使館参事官等知事訪問
24 日	局の体制充実（3課34名体制）（県警察本部から2名、地元3市から4名の職員を受け入れ）
24 日	志摩市「企画部サミット推進室」の設置
26 日	庁内横断組織として「三重県伊勢志摩サミット推進本部」を設置 官民一体となった受入体制として「伊勢志摩サミット三重県民会議」を設立
7 月 3 日	志摩市「伊勢志摩サミット市民会議（仮称）」の設置（予定）
13 日	鳥羽市「伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議（仮称）」の設置（予定）

「三重県伊勢志摩サミット推進本部（仮称）」の設置について

平成27年6月26日
みえ伊勢志摩サミット推進局

1 設置目的

2016年に本県で開催される主要国首脳会議（サミット）に係る庁内の総合調整を所掌し、サミットの円滑な実施に資することを目的とする。

2 推進本部の所掌事項

推進本部の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) サミットの円滑な実施を図るための総合調整に関すること。
- (2) その他サミットの推進に必要な事項に関すること。

3 推進本部の組織体制

(1) 基本的な考え方

・会議の種類として、「本部員会議」及び「幹事会」を設け、必要に応じて「委員会」を設置する。

(2) 会議の概要

① 本部員会議

ア) 構成員：本部長、副本部長及び本部員

イ) 所掌事項

・推進本部の所掌事項に関する意思決定

② 幹事会

ア) 構成員：幹事長、幹事、オブザーバー

イ) 所掌事項

・推進本部に提案する事項
・各部局等の施策について相互に調整を要する事項

③ 委員会

必要に応じて委員会を設けることとする。

(想定)

防災・危機対策委員会

・委員長：防災対策部長（構成員等については、要検討）
・所掌事項：サミットの実施に向けた防災対策に関すること。

保健・医療対策委員会

・委員長：健康福祉部長（構成員等については、要検討）
・所掌事項：サミットの実施に向けた保健医療対策に関すること。

三重県伊勢志摩サミット推進本部設置要綱（案）

（設 置）

第1条 2016年に本県において開催される主要国首脳会議（以下「サミット」という。）の円滑な実施を図るため、三重県伊勢志摩サミット推進本部（以下「推進本部」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 推進本部の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) サミットの円滑な実施を図るための総合調整に関すること。
- (2) その他サミットの推進に必要な事項に関すること。

（構 成）

第3条 推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって構成する。

- 2 本部長は知事をもって充てる。
- 3 副本部長は、副知事及び危機管理統括監をもって充てる。
- 4 本部員は、別表1に掲げる者をもって充てる。
- 5 本部長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者の出席を求めることができる。

（本部長及び副本部長）

第4条 本部長は、推進本部を代表し、推進本部の事務を総理する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるとき、又は本部長が欠けたときは、別表2に定める順序によりその職務を代理する。

（会 議）

第5条 推進本部の会議は、本部長が招集する。

（幹事会）

第6条 推進本部に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事長及び幹事をもって構成する。
- 3 幹事長は、雇用経済部みえ伊勢志摩サミット推進局（以下「サミット推進局」という。）次長をもって充てる。
- 4 幹事は、別表3に掲げる職にある者をもって充てる。
- 5 オブザーバーは、別表4に掲げる職にある者とする。

- 6 幹事会は、次の事項について必要の都度開催するものとする。
- (1) 推進本部に提案する事項
 - (2) 各部局等の所掌事項について相互に調整する事項
- 7 幹事会の会議は、幹事長が招集する。
- 8 幹事長に事故あるとき、又は幹事長が欠けたときは、幹事長があらかじめ指名する幹事はその職務を代理する。
- 9 幹事長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者に出席を求めることができる。

(委員会)

第7条 本部員は、サミットの推進体制を確立するため、各部局等に委員会を設置することができる。

(庶務)

第8条 推進本部の庶務は、三重県雇用経済部みえ伊勢志摩サミット推進局サミット総務課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が会議に諮って定め、また、幹事会の運営に関し必要な事項は、幹事長が幹事会に諮って定める。

附 則

1 この要綱は、平成27年6月26日から施行する。

別表1 (第3条関係)

防災対策部長
 戦略企画部長
 総務部長
 健康福祉部長
 健康福祉部医療対策局長
 健康福祉部子ども・家庭局長
 環境生活部長
 環境生活部廃棄物対策局長
 地域連携部長
 地域連携部スポーツ推進局長
 地域連携部南部地域活性化局長
 農林水産部長
 雇用経済部長
 雇用経済部観光局長
 雇用経済部みえ伊勢志摩サミット推進局長
 県土整備部長
 会計管理者兼出納局長
 企業庁長
 病院事業庁長
 教育長
 警察本部長
 東京事務所長
 関西事務所長

別表2 (第4条関係)

1	副知事	石垣 英一
2	副知事	植田 隆
3	危機管理統括監	渡邊 信一郎

別表3 (第6条関係)

防災対策部防災対策総務課長
戦略企画部戦略企画総務課長
戦略企画部企画課長
戦略企画部政策提言・広域連携課長
総務部総務課長
総務部財政課長
健康福祉部健康福祉総務課長
環境生活部環境生活総務課長
地域連携部地域連携総務課長
農林水産部農林水産総務課長
雇用経済部雇用経済総務課長
県土整備部県土整備総務課長
出納局出納総務課長
企業庁企業総務課長
病院事業庁県立病院課長
教育委員会事務局教育総務課長
警察本部サミット対策課長

別表4 (第6条関係)

議会事務局総務課長
四日市港管理組合総務課長

「三重県伊勢志摩サミット推進本部(仮称)」の組織体制(案)

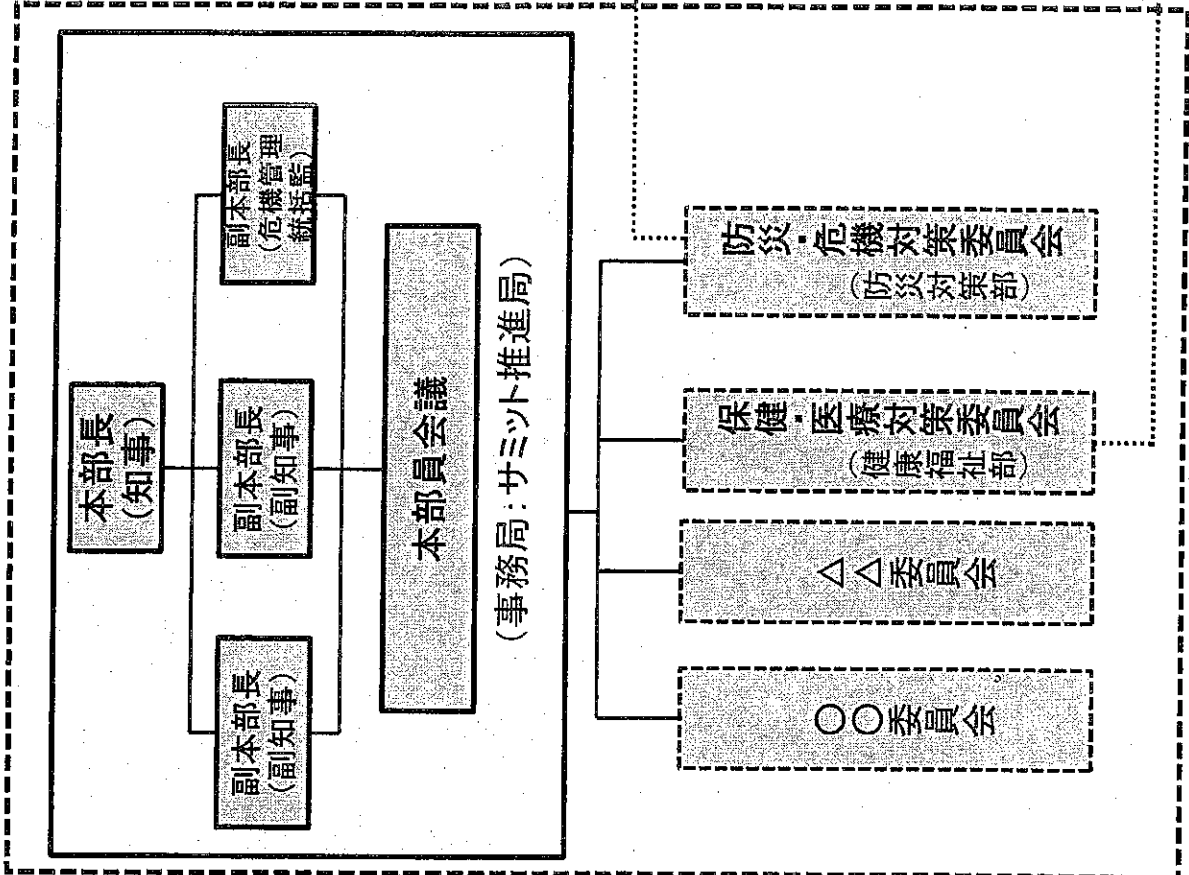
H27.6.26

サミット推進局

サミット推進本部

本部長 知事
副本部長 3名(副知事、危機管理統括監)
本部長 23名
 (防災対策部長、戦略企画部長、総務部長、健康福祉部長、医療対策局長、子ども・家庭局長、環境生活部長、廃棄物対策局長、地域連携部長、スポーツ推進局長、南部地域活性化局長、農林水産部長、雇用経済部長、観光局長、みえ伊勢志摩サミット推進局長、県土整備部長、会計管理者兼出納局長、企業庁長、病院事業庁長、教育長、警察本部長、東京事務所長、関西事務所長)
 ※政策会議メンバーと同一

幹事長 雇用経済部サミット推進局次長
幹事 17名
 (防災対策総務課長、戦略企画総務課長、企画課長、政策提言・広域連携課長、総務課長、財政課長、健康福祉総務課長、環境生活総務課長、地域連携総務課長、農林水産総務課長、雇用経済総務課長、県土整備総務課長、出納総務課長、企業総務課長、県立病院課長、教育総務課長、警察本部サミット対策課長)
オブザーバー 2名
 (議事事務局総務課長、四日市港管理組合総務課長)





希望がかなない、 選ばれぬ三重をめざして

三重県知事 鈴木英敬



2016年 伊勢志摩サミット 開催決定！



過去のサミット

●近年のサミットはリトリート方式により開催（2002年以降）

開催国	開催地	日本の首相	テーマ	
2015年	ドイツ	エルマウ	安倍晋三	ウクライナ情勢を中心とする外交政策、世界経済、エネルギー・気候変動、開発
2014年	ベルギー	ブリュッセル	安倍晋三	ウクライナ情勢を中心とする外交政策、世界経済、エネルギー・気候変動、開発
2013年	英国	ロック・アーン	安倍晋三	世界経済、地域・政治情勢、テロとの闘い、税・マネー・ローンダリング、3T(貿易, 税, 透明性)
2012年	米国	キャンブ・デービッド	野田佳彦	世界経済、エネルギー・気候変動、アフリカ・食料安全保障、アフリカニスタン、中東・北アフリカ情勢
2011年	フランス	ドーヴィル	菅直人	日本との連帯、世界経済・貿易、原子力安全、気候変動、インターネット、中東・北アフリカ情勢
2010年	カナダ	ムスコカ	菅直人	世界経済、開発、アフリカ、国際的枠組みのあり方、平和・安全保障
2009年	イタリア	ラクイラ	麻生太郎	世界経済、環境・気候変動、開発・アフリカ、政治問題
2008年	日本	北海道洞爺湖	福田康夫	世界経済、環境・気候変動、開発・アフリカ、政治問題
2007年	ドイツ	ハイリゲンダム	安倍晋三	世界経済、気候変動・エネルギー効率、地域問題・外交政策、アフリカ
2006年	ロシア	サンクトペテルブルク	小泉純一郎	エネルギー安全保障、教育、感染症、世界経済及び貿易、知的財産、開発援助、安全保障及び地域情勢、テロ対策不拡散、人口動態及び社会問題
2005年	英国	グレンイーグルズ	小泉純一郎	世界経済、貿易、知的財産権、気候変動、アフリカ、中東和平、北朝鮮、国連改革
2004年	米国	シーアイランド	小泉純一郎	経済・貿易、地域情勢、安全保障問題、開発
2003年	フランス	エビアン	小泉純一郎	世界経済、持続可能な開発、アフリカ、テロ対策・大量破壊兵器の不拡散・地域情勢
2002年	カナダ	カナナスキス	小泉純一郎	テロ対策、世界経済の成長と持続可能な開発、アフリカ開発

●過去の日本開催

開催地	日本の首相	テーマ	
2000年	沖縄	森喜朗	IT、開発、貿易、文化の多様性、犯罪、生命科学、環境、地域情勢、グローバル・イシュー
1993年	東京	宮澤喜一	世界経済、貿易、環境問題、開発途上国支援、大量破壊兵器の不拡散、国連の強化
1986年	東京	中曽根康弘	世界経済、貿易、開発途上国支援、食料問題、自然環境保全、テロ対策、原子力
1979年	東京	大平正芳	世界経済、貿易、石油・エネルギー問題、開発途上国支援、難民支援

九州・沖縄サミット(G8)

○開催期間：2000年7月21日～23日

○テーマ

・「一層の繁栄」

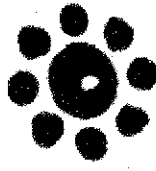
⇒IT、感染症対策、重債務貧困国救済、貿易、文化の多様性

・「心の安寧」

⇒犯罪、生命科学(バイオテクノロジー、ヒトゲノム)、環境

・「世界の安定」

⇒地域情勢(朝鮮半島など)、グローバル・イシュー(紛争予防、軍縮など)



OKINAWA
DEVELOPMENT
AUTHORITY

【開催地の主な取組等※沖縄県】

○基本コンセプト「沖縄を世界に発信」「県民総参加型」「自然体」「したたかさ」

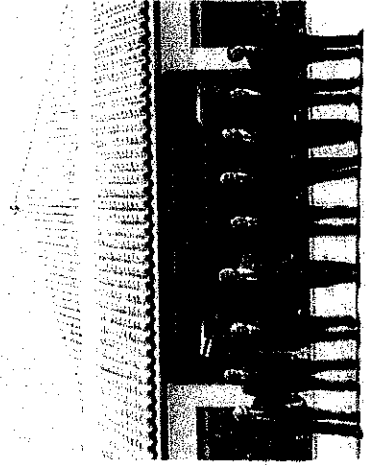
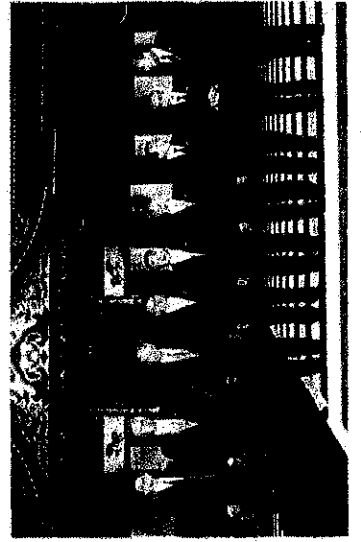
⇒「沖縄じょうほう館」の設置、

“美ら海沖縄”2000年サミットクリーンアップ大作戦、「G8高校生サミット」

「小中学生サミット in OKINAWA」「ヤング・リーダーズサミット2000 in 沖縄」の開催、

サミットミュージックフェストの開催

など



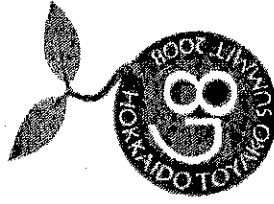
北海道洞爺湖サミット(G8※)

○開催期間：2008年7月7日～9日

○テーマ

- ・「世界経済」⇒原油・食料価格高騰への対応、金融市場の一層の安定化など
- ・「環境・気候変動」⇒温暖化・資源枯渇等への対処に係る目標、
- ・「開発・アフリカ」⇒保健分野の新たな協力、食料価格高騰問題に対する取組
- ・「政治問題」⇒北朝鮮、イランの核問題、アフガニスタン、中東和平など

(※G8のほか、アフリカ諸国首脳との拡大会合、主要経済国首脳会合も開催)

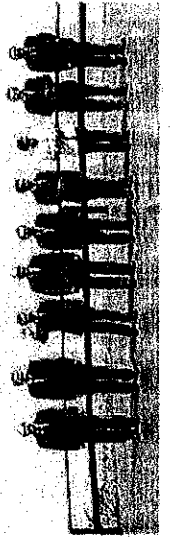
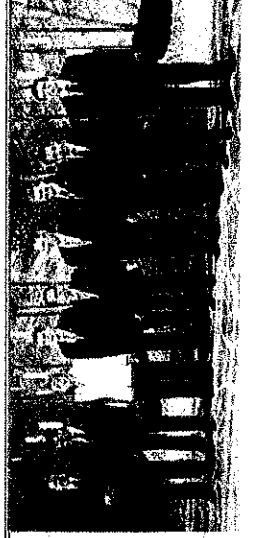


ロゴマークは、
三重県の特別支援
学校の生徒作品

【開催地の主な取組等】

○テーマ

- ・「開催支援」⇒インフォメーション機能の整備、宿泊予約センター開設、
地域住民懇話会、公式行事での歓迎交流など
- ・「北海道発信」⇒ポータルサイト、情報誌、プレスツアー、北海道情報館の開設 など
- ・「おもてなし」⇒クリーンアップ運動の展開、道産食材の利用促進 など
- ・「未来」⇒子ども達を対象とした環境サミット、J8サミット参加者と道内高校生
等との交流、ガイアナイト(電気を消して、ロースクの灯りの中で環
境問題等を考える)の開催 など



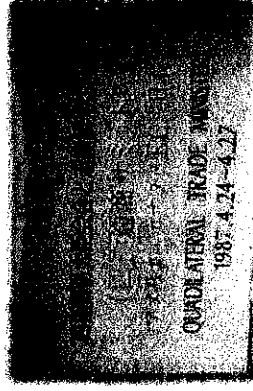
伊勢志摩サミット

なぜ三重県に誘致？

最近の国際会議開催実績

- 1987年4月 四極通商サミット
(田村元通商産業大臣時)
- 2013年5月 日台観光サミット
- 2014年6月 神社本庁ARC伊勢会議

各国の首脳・閣僚級を
招いての国際会議は
30年近く開催されていない！



四極通商サミット

- ◇神宮式年遷宮を経て、次の20年に向けての新たなスタート
- ◇地域の経験値を上げる

国際観光地としてのレベルアップ
国内外での知名度向上



地域の総合力向上へ



日台観光サミット

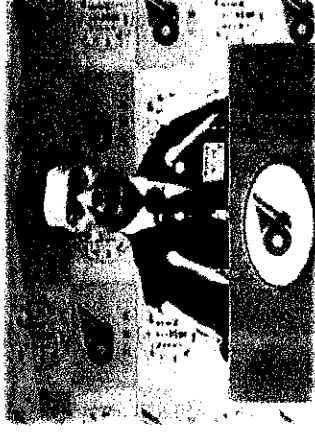
伊勢志摩サミット

サミット誘致へ

これまでの経緯

○2014年(平成26年)

- ・ 8月:関係閣僚会合の誘致を表明(知事定例記者会見)
- ・ 8月:「誘致計画案(概要)」(関係閣僚会合)を外務省に提出
- ・ 10月:「2016年みえ伊勢志摩サミット関係閣僚会合誘致推進協議会」を設立



○2015年(平成27年)

- ・ 1月:「誘致計画案(概要)」(首脳会議)を外務省に提出
- ・ 1月:外務省現地調査
- ・ 1月:首脳会議の誘致を表明、PTの設置を発表(知事定例記者会見)
- ・ 2月:「2016年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」に名称変更
- ・ 3月:要望活動(官房長官、官房副長官、外務大臣、国家公安委員長(代理))

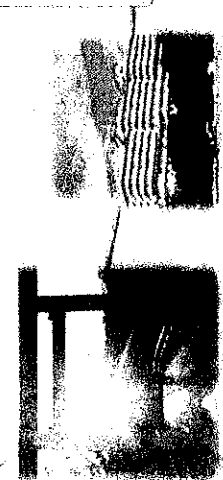


伊勢志摩サミット

当初提出した
計画案

アピールポイント

～多様な価値観の共存による
世界平和を発信～



「日本人の心のふるさと」「里海」のある
「聖地 伊勢志摩」から
「共生」「成長」のメッセージを世界に発信!!

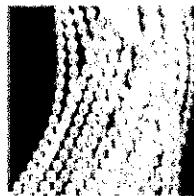
自然や人に感謝する「OKAGE-SAMA」プロジェクト

～環境と産業の両立、
自然と成長の調和を発信～



～リゾート方式を実践・海洋リゾートの
一体感とリラクゼーションができる雰囲気の中で～

～日本を代表する豊富な歴史・伝統文化～



警備上の優位性と国内外要人警護
の豊富な経験



2016年 伊勢志摩サミット 開催決定！

伊勢志摩で来年サミット 開催地が決定

伊勢志摩 歓喜の渦

16年サミット

神宮文化 世界に 関係者 観光振興に期待

伊勢志摩サミット開催地が決定したことが、関係者から歓迎の声が上がる。観光振興に期待が寄せられている。...

伝統文化や警備重視 知事「県に新たな歴史

知事「県に新たな歴史」と語り、伝統文化や警備に力を入れる方針を示している。...

伊勢志摩サミット決定

伊勢志摩サミット決定

伊勢志摩サミット開催地が決定したことが、関係者から歓迎の声が上がる。観光振興に期待が寄せられている。...



16年伊勢志摩サミット

景勝地 警備も容易
伊勢志摩サミット開催地が決定したことが、関係者から歓迎の声が上がる。観光振興に期待が寄せられている。...



6月6日付新聞各紙

開催決定時の安倍首相の発言要旨

<6月5日(金):エルマウ・サミット出発前の羽田空港での会見>

・日本の美しい自然、豊かな文化、伝統を世界のリーダーたちに肌で感じてもらえる、味わっていただけた場所になりたい。

・伊勢神宮は悠久の歴史を紡いできた。たくさんの日本人が訪れる場所で、日本の精神性に触れていただくとには大変良い場所だ。G7のリーダーたちに訪れていただき、伊勢神宮の荘厳で凜とした空気を共有できればよい。

・大小の島々、美しい入り江。志摩には日本の原風景とも言える美しい自然がある。日本のふるさとの情景を、リーダーたちに肌で感じていただきたい。あの絶景を共に楽しみたい。



<6月8日(月):内外記者会見>

・眼下に広がる志摩の豊かな海は、太平洋から、インド洋までつながっている。アジアやアフリカのたくさんの国々の国々の思いを胸に、日本は、議長国として、世界の平和と繁栄のため、世界のリーダーたちと率直に話し合いたいと思う。

・伊勢神宮を始め、日本の伝統や文化、美しい自然を、存分に味わっていただきたい。日本の「ふるさと」の素晴らしさを、世界に発信する機会にしてまいりたい。



眼下に広がる志摩の豊かな海は、太平洋からインド洋までつながっています

開催地決定に伴う首相等関係者訪問

- 三重県・伊勢志摩での開催決定に伴い、6月11日(木)に首相官邸、国家公安委員会ほかを訪問



安倍首相

「日本の美しい自然と豊かな伝統文化を発信していきたい。一緒に頑張っていこう。受入体制など準備をよろしく。」

「ドイツ・エルマウも景色がいいところであったが、伊勢志摩も負けず劣らず奇麗なところである。外国人観光客の誘致にも頑張っていきたい。」



経済効果(1)

◆九州・沖縄、北海道洞爺湖の各サミット

平成27年6月9日朝日新聞朝刊

九州・沖縄
サミット

- ・名護市の2014年度の宿泊者数124万人(00年から倍増)
- ・「かりゆし」の製造枚数 00年:11万枚→13年:43万枚(4倍増)
- ・市商工観光課「サミットで観光地としての知名度が上がった」

経済効果
約240億円
(開催前の試算)

北海道・洞
爺湖サミット

- ・洞爺湖町の2014年度の宿泊者数 08年度より9%少ない62万人
- ・サミット会場になったホテルは昨年、売却された
- ・地元観光協会「サミットがなければもっと減っていたかも」

経済効果
約350億円(試算)

◆伊勢志摩サミット

百五経済
研究所

- ・全国では510億円、
うち三重県内は130億円

(直接効果。国・県の直接関係予算を270億円と想定)

大和証券

- ・観光消費額が5年間で累積1750億円増

(ポストサミット効果。洞爺湖サミットは122億円。

奈良県と同程度の訪日外国人/日本人比率を想定。県の訪日外国人観光消費額が平成25年の22億円の17倍の369億円程度、2020年には倍の700億円程度と期待)

洞爺湖サミット
の10倍以上!

経済効果(2)

◆株式市場の状況

サミット開催地が三重県と発表された週明け6月8日の株式市場では、地元や関連企業の株価が上昇。

近鉄グループHD	・430円(+16円)
三重交通グループHD	・518円(+80円、ストップ高)
	・値上がり率18.2%は、同日の東京証券取引所第一部でトップ
百五銀行	・613円(+19円)
第三銀行	・197円(+3円)
柿安本店	・1932円(+26円)

※()内は前週末終値比

首都圏営業拠点「三重テラス」の来館者が増加

サミット開催決定以降の1週間で

対前年度比22.8%増加

平成26年6月6～13日
来館者数

8,715人

平成27年6月6～13日
来館者数

10,709人

三重県HPの閲覧者が増加

三重県HP トップページビュー数

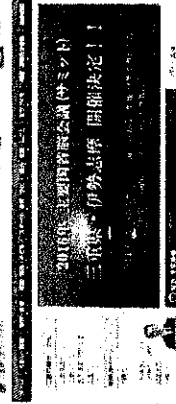
対前月比46.8%増加

2015年5月1日～31日
日当たり平均ビュー数

8,564人

2015年6月6日～15日
日当たり平均ビュー数

12,579人



※平成27年6月9日中日新聞朝刊

みえ旅プレミアム旅行券
売れ行き好調!!

宿泊費が最大で半額になる
「みえ旅プレミアム旅行券」

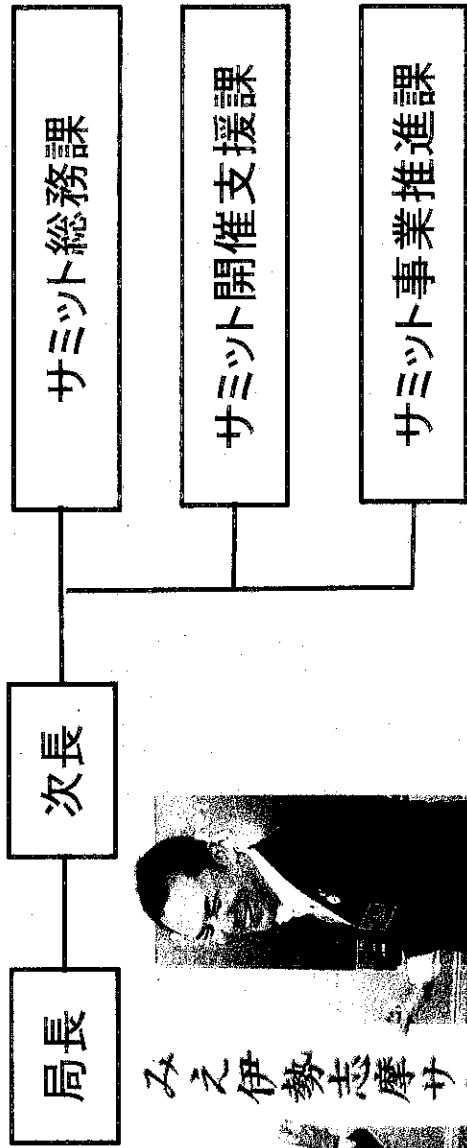
●楽天トラベルでは、販売初日(5月30日)と比較して、サミット決定の翌日(6月6日)の予約件数が2倍に増加。

●コンビニで販売する旅行券(1万枚)は4分で完売。(6月16日)



推進体制

○6月8日(金)、雇用経済部に「みえ伊勢志摩サミット推進局」を設置



○6月26日(金)

- ・庁内横断組織として…「みえ伊勢志摩サミット推進本部」(仮称)を設置
- ・官民一体となった三重県全体の受け入れ体制として…「みえ伊勢志摩サミット県民会議」(仮称)を設置予定

今後の取組

みえ伊勢志摩サミット県民会議(仮称)の設立

開催支援

～万全の体制でサミットを成功させる～

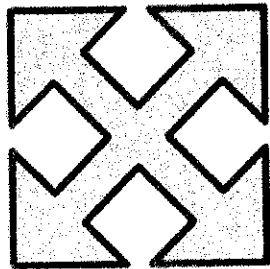
**警備の充実
配偶者プログラム
公式行事に伴う歓迎交流**

おもてなし

～歴史に育まれたあたたかいところで、世界からのお客様の記憶にのこるおもてなし～

**サミットフォーラムなどによる
気運の醸成
環境美化・飾花運動**

4つの柱



明日へつなぐ

～子どもたちと県民が、世界との交流で創る三重の希望を明日へつなぐ～

**ジュニアサミット
県内学校等による国際交流**

三重の発信

～美しい自然、豊かな文化・伝統など、私たちが誇りに思う三重の発信～

**プレスツアーの開催
県内外の各種イベントなど
あらゆる機会を通じた発信**

●誘致推進協議会を発展させた形で、「みえ伊勢志摩サミット県民会議(仮称)」を設立し、官民一体となった三重県全体の受け入れ体制の確立。

●市町や関係団体等と連携し、「開催支援」に取り組むとともに、サミットを一過性に終わらせることなく、地域の総合力の向上につなげるため、「おもてなし」、「明日へつなぐ」、「三重の発信」を柱に、サミット開催に向けた全県的な取組の展開。

